

150回 みやまえロビーコンサート

平成 18 年 5 月 15 日 (月) 12:10~ 宮前区役所 2 階ロビー

【プログラム】

エルガー：愛の挨拶

ピアソラ：リベルタンゴ

佐山雅弘：旅路より

ロドリゲス（リッチ）：ラ・クンパルシータ

幸松：八木節

サラサーテ：アンダルシアのセレナード

サラサーテ：チゴイネルワイゼン踊り手



きの まさゆき
木野 雅之(ヴァイオリン)

桐朋学園高等学校音楽科を経てロンドンのギルドホール音楽院卒業。イブラ・ニーマン、ナタン・ミルシュタイン、ルッジェーロ・リッチ、イヴリー・ギトリスの各氏に師事、1983年イタリアのロドルフォ・リピツァー、1984年ロンドンのカール・フレッシュ、1988年ベルリンのルッジェーロ・リッチ・マスター、1990年アメリカのパームビーチ招待の国際コンクールで優勝、1985年パリのメニューヒン国際にてサロン音楽特別賞、また1987年には、その前年の1986年度に英国内でオーケストラとコンチエルトを演奏した将来性ある優れた演奏家に贈られる「ロイヤルオーケストラ協会シルバーメダル」を授与される。

ロイヤル・フィル、ベルリン響、ポーランド国立放響、グレーター・パームビーチ響、エネスコ管、モスクワ放響、アルトゥール・ルービンシュタインフィル、等多くのオーケストラと共演する。フィンランドのオウルンサロを初め、数多くの音楽祭に参加、さらにBBC(英国)、ラジオ・フランス、RAI(イタリア)、RTSI(スイス)等のテレビ、ラジオに出演。NHK テレビでも取り上げられた名器「ストラディヴァリウス・サミット・コンサート」ではギトリス等各国から集まった名手たちと共演し好評を博した。1993年より日本フィルコンサートマスターに就任。1994、98年にはリッチと日本フィルで協奏曲を共演し絶賛された。また白馬を初めとする世界各地でのマスタークラス、フランス、ヴィヴァルディ音楽学校、桐朋学園大学講師として後進の指導にもあたっている。CD、DVDがオクタヴィア他より多数発売。2006年は別府アルゲリッチ音楽祭に参加予定である。使用楽器は恩師ルッジェーロ・リッチから譲り受けた1776年製ロレンツォ・ストリオーニ。



さやま まさひろ
佐山 雅弘(ピアノ)

国立音楽大学作曲科在学中より音楽活動を開始。以来30年近い音楽歴の中、年間200回を越すコンサート&ライブ活動、無数のスタジオセッションで、共演したミュージシャンは数え切れない。

PONTA BOXのオリジナルメンバーとして「モントルー・ジャズフェスティバル」フジTV系「ニュースJAPAN」にレギュラー出演。1991年大坂昌彦の帰国当初から小井政都志と3人でセッションを重ね、1997年頃より新世代スーパー・ジャズ・トリオ「M's (マサちゃんズ)」として正式にユニット活動を開始。2000年、村上"ポンタ"秀一、村田陽一と共に、「色褪せない音楽」を標榜し、新レーベル「3VIEWS」を設立、アーティスト兼プロデューサーを務め、若い才能の発掘にも取り組んでいる。2001年から東京文化会館で小原孝とのピアノデュオコンサートを定期的に開始。ライフワークとして取り組んでいるソロピアノコンサート「A POINT OF THE GLOBE」は、ピアノの音色を熟聴する観衆とともに、年を経てますます深く内面に掘り下げられ、独自の境地に至っている。

海外での演奏活動にも積極的で、国際交流基金によるアフリカ4カ国、6都市での1カ月を超える演奏旅行に参加するなど、中国、タイ、ベトナム、ロシア、ヨーロッパとその活動範囲は全世界に及んでいる。

コンサート、TY番組の音楽監督も数多く手掛け、フジTV「ゴールデン洋画劇場」では、テーマ音楽の作編曲も行っている。2001年公開の映画「真夜中まで」ではジャズピアニスト佐山雅弘役として出演。1984年初のリーダーズアルバム「スバトット」を発売以来、2005年M's「STANDARD MIND」まで12枚のアルバムをリリース。

現在、ミューザ川崎シンフォニーホール・ホールアドバイザー及び名古屋音楽大学客員教授。